



# 翁島小学校だより

第4号 H30. 5. 21 発行 文責：校長 星 善樹

## ◎ 子ども達の安全確保のため地域の皆様のご協力をお願いします。

子ども達にとって楽しいゴールデンウィークが終了して、学校がスタートしたその日に新潟市の小学校2年生の女の子が殺害されるという衝撃的な事件が発生しました。動機などの詳細については、現在調査中ということですが、いずれにしても取り返しのつかない悲しい事件です。女の子の事を思うと、これから、素晴らしい事がたくさんあったろうにというやり場のない憤りが強く湧いてきます。また、ご家族の事を思うと、私などの想像をはるかに超えた悲しみ、怒り、絶望感の中で毎日を過ごしているであろうと心が痛くなります。

小学生が犠牲になった事件として決して忘れられないのが、2001年(平成13年)に起こった大阪教育大学付属池田小学校での小学生無差別殺傷事件です。この事件を最初に知った時、人間として決して許されない一線を越えてしまった犯罪だと強く感じました。勿論、犯罪はすべて許されないことです。しかし、これは、学校に勤務し子ども達の安全を守らなければならない私たちにとって、学校の安全神話を打ち砕く衝撃的な犯罪でした。この事件以降、学校には不審者対応マニュアルが作成され、不審者に対峙するための「刺股(さすまた)」などが設置され、不審者対応訓練なども実施されるようになりました。

子ども達は、現在、翁島の素晴らしい環境の中で毎日生活しています。しかし、その素晴らしい環境の中にも危険が潜んでいないとも限りません。今回の事件を受けて、私たち自身日ごろの指導を振り返るとともに、子ども達には、以下のような内容を再度、指導していきたいと思います。尚、子ども達の安全は、家庭や学校だけでは守れるものではありません。地域ぐるみで「地域の宝」である子ども達の安全確保のためご協力をお願いいたします。地域の皆様をお願いしたい事も以下に記載いたします。

### ○ 不審者対応として・・・子ども達に確認したこと

- 1 知らない人や車には近づかない。道などを聞かれても不用意に近づかず、距離を持って対応すること。
- 2 危険を感じたら大声で助けを呼ぶ、近くの家に助けを求める。
- 3 様子がおかしい人が近づいてきたら、その場から遠ざかる。すぐ逃げる。
- 4 万が一危険なことに出会ったら、すぐに警察に連絡。(犯人が逃げないうちに警察に捕まえてもらいましょう。)学校にも知らせる。早めの通報が有効です。
- 5 習い事や塾の帰りなど、やむを得ず一人で帰るような状況になった時は、明るい道を帰ること。また、家の人と連絡を取り、迎えを頼むようにする。
- 6 外出するときは、「誰と、どこへ、何のために、何時に帰るか」を必ず家人に言ってから出かける。

### 防犯標語 「いかのおすし」

「いかない、のらない、おおきなこえをだす、すぐにげる、しらせる」



## ○ 地域の皆様をお願いしたい事・・・子ども達の安全確保のために

- 1 子供達には、危険を感じたら、近くのお宅に逃げ込むように指導いたします。そのような場合には、子どもの安全を確保し、すぐに警察に連絡をお願いします。家庭、学校への連絡もお願いいたします。
- 2 農作業など外に出ている場合は、子ども達を見かけましたら安全に気を配ってください。
- 3 犬の散歩など登下校に時間に合わせて行っていただければ幸いです。

## ◎ 指導主事の菅井明人先生が、体育指導に来てくださっています。

本年度より猪苗代町教育委員会に指導主事として菅井明人先生が着任されました。菅井先生は、昨年度まで緑小学校の教員として勤務されていましたが、体育の専門家であり、是非その指導力を町内の小中学校の子ども達の指導に生かしてほしいという教育委員会の願いから町の指導主事として町内の全小中学校の指導に当たることになりました。

画期的な試みであると思います。本校においては、現在1,2年生の体育の時間に来ていただき、担任の先生と一緒に指導をしていただいています。今後、全部の学年の指導に入っていただく予定でいます。子どもたちがますます体育が好きになり、体力・運動能力が向上していくことと思います。



## ◎ 野口英世少年博士像について（翁小ホームページ 2018,1,08 の掲載記事）

校舎の前には、「野口英世博士少年像」(右写真1)が建っています。少年時代の野口博士の像は、他にはあまり見かけません。この像が建てられたのは、昭和28年です。作者は、すでに故人となった愛媛県出身の「塩崎宇宙(しおざきうちゅう)」という彫刻家です。像を建立することとなったいきさつはまだわかりませんが、建てられた当時は、今の旗竿付近にありました。証拠となる写真が、「右写真2」です。2人の男の人が写っています。左がこの像の作者である塩崎宇宙さん、右が、天体写真家であり、以前課題図書になった「星になったチロ」というお話の作者でもある藤井旭さんです。少年像は、昭和57年に現在の場所に移されたそうです。その際、台座も新しくなったようです。さらに、ざっと調べただけでも「野口英世博士少年像」は、翁島小学校以外に3体あることがわかりました。すべて作者である塩崎宇宙さんのふるさと愛媛県でした。上写真3は愛媛県今治市立日吉中学校、上写真4は愛媛県八幡浜市立愛宕中学校、上写真5は愛媛県宇和島市立鶴島小学校の像です。

